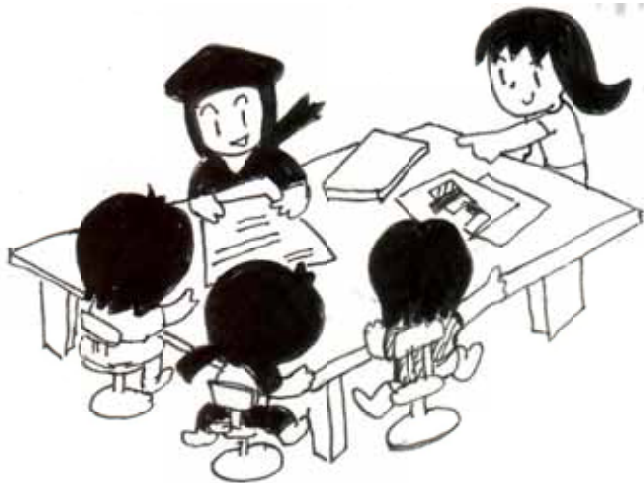




京都の住民自治を「京都レポート集」を発信しよう



7月1日久しぶりの京都実行委員会が開催され、いよいよ本番に向けてスパート。

リーフレットも完成し、1500名参加をめざし、呼びかけにはいること。京都からレポートもたくさん出して内容的にも貢献すること。当日の要員としても大奮闘しようと思いつきました。そして、京都からの(持ち込み)レポートを集め、「京都レポート集」を発行することも決めました。レポート運動に弾みを付けると共に、今後の住民運動にもいかせることをめざしています。

交流の中では教育・高齢者・まちづくり・大学・原油高騰・環境問題・障害者・公契約運動などさまざまな分野から問題の指摘がありました。

そして、まいづる市民自治研修所の地域調査「行け行け!かまぼこ調査隊」、府職労の自治研集会の開催や宮津市職のレポート作成に向けた準備をしていることなど全国自治研に照準を当てた取組が広がりつつあります

市町村の労働組合に直接訴え

委員長、北から南、京都府内をまわる

いよいよ間近に迫った全国自治研。京都自治労連は7月9日の定期大会でも

「自治研全国集會を全組合員の団結の力で成功させよう」の特別決議をあげました。

大会後、委員長を先頭に京都府内の各組合に出向き、役員のみなさんに全力での取組を要請してきました。



1500名の参加を京都から

行け行け! かまぼこ調査隊

地域のいろんな団体、人々とつながりながら楽しく活動を進める「まいづる市民自治研究所」。

全国自治研に向けて「是非地域の調査活動をやりたい」と今回取り上げたのは地元の名産品かまぼこ。調査隊の隊員を広く募集し、舞鶴蒲鉾協同組合の協力も得て取組をはじめました。調査活動を通じ、名産品かまぼこをひろめていくと共に地域経済政策の提言を行おうとする取組に、地元の新聞も記事を掲載しました。

全国自治研の分科会にもレポートを提出します。舞鶴のかまぼこの特徴は100%生すり身。地元で取れる魚にこだわっています。自治研当日にも販売する予定です。

地域に生きる自慢のかまぼこも是非ご賞味下さい。



教研全国集會も京都で開催されます。50を超える団体で構成された京都実行委員会は、今熱く準備をすすめています。

子どもの貧困の問題のシンポジウ

全体会みやこめっせ

8月21日(木)

分科会

8月22日(金)

8月23日(土)

フォーラム

8月24日(日)

8月22(金)

18:00~20:30

教育文化センターホール

シンポジウム

貧困の中の子どもたち

みんなで21世紀の未来をひらく
教育のつとめ
教育研究全国集會二〇〇八in京都

ムなど、全国自治研にもつながる興味深い内容もいっぱいです。是非この機会に参加しましょう。

現地分科会だより

京のまちづくり - 新景観政策と 西陣の町家 -

京都破壊の歴史のまちなみ・景観破壊と都心部の変貌に焦点をあてその現状とそれに抗してまちなみ・景観・すまいを守る運動の紹介します。

その運動によってかちとった京都市の新景観政策はどういうものなのかを紹介しします。あわせて京都の代表的なまち、西陣とその町家も見学します。

将軍塚から京都を一望

午前中は、新建築家技術者集団・京都支部の榎田基明さんの案内で市内中心部のまちなみを見学します。

集合予定場所からマイクロバスで東山は将軍塚へ。ここから市内を一望し、全



国からお越しのみなさんに京都市内中心部の概要をつかんでいただきます。梅雨の最中の下見の日は少しかすんでいましたが、10月の当日はきっとコバルトブルーの空になるでしょう。

京都ホテル・姉小路通・鉾町



京都ホテル



桧屋からリクルートマンションを望む



リクルートマンション

その後のコースは、地上げにあった万寿寺通、総合設計制度によって建てられた60mの京都ホテル。そしてそれとは対照的な京都(日本)を代表する伝統と格式のある俵屋・桧屋へと足を運びます。その後、看板のあるまちなみとしても知られる姉小路通から二町にまたがるリクルートの巨大マンションを見て、六角堂へ。その後、これも代表的な町家、杉本家住宅から路地や通りを歩き、鉾町の低層の町並みが守られたところ、高層化・巨大化したマンション群を見て歩きます。



杉本家

平安京からの歴史都市・京都西陣を歩く

昼食は「西陣の町家・古武」でお弁当をご用意します。

午後は、この町家をお借りして、榎田さんからあらためて京のまち破壊とそれに抗して運動してきたたたかい、京都市の新景観政策についてお話をさせていただきます。古武博司さんからは実際にご案内していただきながら町家の特徴についてお話をさせていただきます。その後、大徳寺へ向かってまちなみ見学。源氏物語から応仁の乱、秀吉、江戸時代、近代へ



西陣の町家・古武

とどの時代をとっても西陣の歴史を古武さんはピピッドに語っていただけます。何のお話になるかは当日のお楽しみ。

「西陣の町家・古武」

古武博司さんは、京都中京区・姉小路釜座の生まれ。桂高校農業科卒。京都府市町村職員厚生会に勤務。町並みを調べることに何年かたずさわり、その折りに知った西陣の町家が、マンションに建て替わろうとしていることを知り、町家を残すべく、主宰するにいたる。「西陣」という古くからの繊維産業の地にありながら、数少なくなりつつある町家を再び見直して、地域の人たちと共に催し会場、文化発信の空間として活用されている。

